



～メール～ No4

☆令和4年度教育委員会表彰☆

皆さん、こんにちは！二月も立春を過ぎ、三寒四温の毎日ですが、今朝も表丹沢の山々がきれいに見え、なんだかホッとする気持ちになりました。さて、皆さんは「ふるさと秦野」の好きな場所はどこですか？

1月21日(土)に開催されました「教育長表彰」や「はだのっ子アワード」には、市長はじめ来賓の皆様、そして多くの校長先生にもお越しいただきました。教育長表彰では本市の名声を、それぞれの分野で高めてくれた子どもたち、全国や神奈川県内の発表会や大会等で優秀な成績を収められた、個人35名、6団体に賞状をお渡ししました。お祝いの言葉では、本市にもゆかりの深い二宮尊徳氏の報徳仕法から、昨年は「至誠」を、そして今年は「積小為大」という言葉で、日々の努力の積み重ねが大事なこと、そして保護者や支援いただく方々への感謝の大切さについてお話しさせていただきました。私は、はだのっ子の素晴らしい活躍に感謝です。

個人部門は
36名
を表彰



団体部門は
6団体を表彰



受賞された皆さん

- ☆個人部門☆(敬称略)
- 山田夏実(鶴巻中1) 山田千晴(鶴巻小2) 遠藤里桜(堀川小4)
 - 大庭咲愛(南が丘小6) 諸田和真(南小5) 西中聡理(大根小5)
 - 安間夢子(南小5) 横山瑞希(西中2) 渡辺桜貴(大根小6)
 - 中田賢汰(平塚中等教育学校3) 関野志龍(秦野総合高等学校1)
 - 吉浦優愛(西中3) 吉浦莉愛(西中1) 沼野井敬太(鶴巻中2)
 - 沼野井心葉(鶴巻小4) 藤村友(堀川小3) 湯川茜奈(堀川小4)
 - 湯川真奈(堀川小5) 古川まかな(北中1) 小池加倫(本町中2)
 - 石井海菜(本町中2) 熊澤紗彩(渋沢小5) 浦中颯太(北中2)
 - 前迫誠人(鶴巻中2) 今本怜伽(鶴巻中2) 富田心蘭(南中1)
 - 重田真依(本町中3) 柳川旺汰(南中3) 幸本明香(南中3)
 - 湯川月翔(東中3) 小田切那海(西小6) 小川沙羅(南小6)
 - 滝口晴之(北小3) 藤田想来(南が丘小4)
 - 関野琴梨(南小4) 早川征吾(堀川小3)
- ☆団体部門☆
- 西湘 Future 本町中学校女子ソフトテニス部チームA～C
 - 秦野フレンドリークラブ 南中学校男子ソフトテニス部

～はだのっ子アワード参加者増加～

今年もたくさん子どもたちが「ふるさと秦野」を学ぶ「はだのっ子アワード事業」に782人(昨年度647人)が参加してくれました！引き続き、多くの皆さんに「ふるさと秦野」のことを学んでほしいと願っております。(敬称略)



はだのっ子アワード受賞者の皆さん



ダブルクラウン受賞

本町小	5	猪狩 有吾
-----	---	-------

ダブルクラウンは検定最難関のS級
合格と体験部門7地区制覇の偉業です

ふるさと秦野検定 S級

本町小	5	猪狩 有吾
南小	5	諸田 和真
東小	5	石丸 実玲
渋沢小	6	徳田 紗英
鶴巻小	6	穴戸 佑愛菜

ふるさと秦野検定 A級

本町小	5	稲本 彩花
南小	5	諸田 和真
渋沢小	6	徳田 紗英

体験活動部門7地区達成者

南小	5	小泉 きなり
南小	5	高桑 暖
南小	6	小泉 信人
東小	3	板垣 みはる

体験活動部門3地区達成者

本町中	3	志村 壮大
本町小	3	市川 正和
南小	2	諸田 真奈
東小	1	矢作 愛花
末広小	4	鈴木 陽大
末広小	6	鈴木 希実
南が丘小	3	鈴野 修一



読書活動部門 特別表彰

南小	2	諸田 真奈
北幼稚園	年少	糟谷 柚季

先生方・ご家族の
ご支援にも感謝！

ポストコロナに向けて

一斉休校！あの日のこと

令和2年2月、当時私は教育部長1年目でした。書類をコピーしている私に、当時の内田教育長が「安倍首相が記者会見で一斉休校と会見しているぞ！すぐ県に確認した方が良いな」と私に告げました。私は、驚いてすぐに県教育委員会の知人に電話をしましたが、「私も今知りました！」との回答でした。つまり、私たちも、学校も事前に具体を何も知らされないままスタートし、今も走り続けています。

コロナという大災害の子どもたちへの影響

あれから3年、いまだにコロナとの共存は続いています。当時から、そして教育長となった今でも、長引くコロナの影響は、子どもたちの心にどう影響するのか、大変危惧しています。そして3月には、大事な卒業式！これからの学校生活については、国のほうから何か通知があるということで、この教育長だよりの発行もためらっていません。結局今回も報道先行!？のようですが、変化の激しい時代ですから、これも仕方ないことかもしれません。

アフターコロナに向けて

個人的には、基本的な感染対策が「スタンダードに戻る」のかなと感じています。スタンダードとは以前触れましたが

- 1 体調が悪いときは無理をしない
- 2 免疫力を高める生活

この二つはコロナ以前から、基本的な感染対策として各家庭でも実践されてきたことではないでしょうか。そして、コロナ禍でクローズアップされたのがマスクと環境設定かと思えます。

最初に書きましたコロナ禍で心配される子どもたちへの影響ですが、その一つにはマスクがあると思います。こうした影響を心配いただいて、直接教育委員会に、ご意見をいただく保護者の方々もいらっしゃいますが、私も同じように感じています。恐らく先生方に10人聴けば、ほぼすべての方々マスクを外した方が良いという答えになるかと思えます。

今後の方針

一方、国が掲げる個人の判断を大別すると

- A：必ずマスクをする B：出来ればマスクをする
C：どちらでもよい D：できればマスクを外す
E：マスクはつけない

大人でさえ判断が困る中、小学1年生から中学3年生まで、発達段階も大きく違います。更に子どもたちは「育てられたように育つ」。そして、学校という場所は、クラスの人数も、一人一人の健康状態も違います。まして地域の感染状況も違う。文科科学省からは具体的な例示もされています。

その上で、大まかな方針としては、外せる場面と各校が判断できる場所ではDだと感じています。しかしAとEの判断をする子どもがいても良いのは言うまでもありません。

大切にしたいこと

今の社会の課題の一つに「同調圧力」の弊害があります。一方でこれからの社会は多様性が求められています。私が大切にしたいのは相互理解とそのための熟議だと感じています。以前触れました「子どもファースト」の答えは教室にあります。それぞれの場所で、より良い学校生活を目指して、最適値と納得解が見つかるよう先生方で、そして各家庭でも話し合っていたら幸いです。

部活動は大切な教育活動です！

国では、令和7年度以降、休日の学校部活動を段階的に地域へ移行していく方針を示しています。本市においても校長会等の代表も参加する部活動検討会等での議論をもとに、学校運営協議会や生徒会意見交換会等で、熟議を続けています。

令和3年11月には教職員アンケートを実施しましたが、今後の段階的な地域移行への共通理解を図るため、1月16日には、市PTA連絡協議会諏訪会長や有識者等を招いて先生方向けに部活動に関するフォーラムを開催しました。



教職員向けフォーラム

今後は、各学校でも様々な機会を活用して意見集約や説明等を行っていく予定です。今後は生徒数の減少も予測され、持続可能な文化スポーツ活動の在り方を生徒・保護者・地域の皆様と共に考えていく方針です。

はだのっ子の体力改善中！

小学校6年生 男子	令和3年度	令和4年度
秦野市	49.37	51.67
神奈川県	52.41	52.27
全国	52.52	52.28
全国との差異	-3.15	0.61

全国とほぼ同等の結果

小学校5年生 女子	令和3年度	令和4年度
秦野市	50.72	52.54
神奈川県	53.62	53.63
全国	54.64	54.31
全国との差異	-3.92	-1.77

小5女子は約2ポイント改善

中学校2年生 女子	令和3年度	令和4年度
秦野市	43.48	45.61
神奈川県	46.56	46.75
全国	48.56	47.42
全国との差異	-5.08	-1.81

中2女子は約2ポイント改善

中学校2年生 男子	令和3年度	令和4年度
秦野市	39.21	40.89
神奈川県	40.31	41.49
全国	41.18	41.04
全国との差異	-1.97	-0.15

中2男子は同等の結果まで改善

全国体力・運動能力、運動習慣等調査とは、各学校で毎年1学期に、小学校5年生と中学校3年生の体力・運動能力の状況を把握するため実施される調査で、本市では、教育活動全体の見直しや体力向上施策の成果等进行分析し、教育振興基本計画に掲げられた「はだの元気っ子プラン」推進につなげることをしています。

今年度は、全体的な指標となる体力合計点において、**小中男女全てにおいて昨年度に比べて大きく改善**しており、特に**小学校5年生男子と中学校2年生男子では全国とほぼ同等**となったほか、**小学校5年生女子と中学校2年生女子においても3ポイント以上改善**しています。

改善の大きな要因としましては、**子どもたちや支援する先生の頑張りが第一で、中学校においては中学校完全給食実施による食育の充実もある**とみています。

知って得することば！～分度とは～

分度とは、秦野にもゆかりの深い二宮尊徳の報徳の教えの一つです。自分のことをよく知り、よく考え前向きに生きる人になるとういう教えます。「前向きに生きる」皆さんはいかがでしょうか！